

じゅうねんひとむかし  
十年一昔とは、10年をひと区切りとみて、その間には大きな変化があるものだという事です。平成の時代も20年目を迎えています。皆さんの暮らしや生活などに大きな変化はありましたか？

このページでは、平成元年発行のミニ町勢要覧に掲載された「統計からみる町民の暮らし」をふまえて、20年後の統計数字をお知らせします。数字を比較すると、ある事象に合点がいたり、現代の世相を反映している項目を見つかることができると思います。

例えば、人口動態をみてみると、昭和63年度は、転出による人口の流出が多く、いわゆる「社会減」が顕著で、平成19年度は、社会減が大きく数字を減らしましたが、死亡数が出生数を上回る「自然減」となっています。近年の人口減少は、社会減と自然減の二つの要因によるものと推測されます。

一方、人口は減少しているにもかかわらず世帯数は増加しており、核家族化の進行、単身世帯の増加が考えられます。

また、たばこを吸う本数は、20年前に比べ大きく減っています。これは、健康に関心を持ち禁煙する人が近年多くなったことが要因と考えられます。

皆さんも左右の表を見比べて、数字による厚真町民の暮らしの変化を感じとってください。

## 昭和63年4月～平成元年3月

<p>出生</p>  <p>1カ月に6人</p>	<p>死亡</p>  <p>1カ月に4人</p>	<p>転入</p>  <p>1カ月に19人</p>	<p>転出</p>  <p>1カ月に34人</p>
<p>婚姻</p>  <p>1年に24組</p>	<p>離婚</p>  <p>1年に5組</p>	<p>人口密度</p>  <p>1km<sup>2</sup>に15.5人</p>	<p>平均世帯人数</p>  <p>1世帯に3.3人</p>
<p>町当初予算</p>  <p>元年度・一般会計 39億100万円</p>	<p>町税</p>  <p>1人年間33万9千円</p>	<p>町議会議員定数</p>  <p>18人、町民349人に1人</p>	<p>教員</p>  <p>元年度学校基本調査 90人、児童・生徒10人1人</p>
<p>ごみ</p>  <p>1世帯1日あたり2.9kg</p>	<p>水道</p>  <p>1日1世帯あたり171ℓ</p>	<p>警察官</p>  <p>3人、町民2,093人に1人</p>	<p>保健師</p>  <p>3人、町民2,093人に1人</p>
<p>たばこ</p>  <p>1人1日あたり9.6本</p>	<p>自動車</p>  <p>4,324台、 1世帯あたり2.3台</p>	<p>消防団員</p>  <p>80人、町民78人に1人</p>	<p>平成元年3月末</p> <p>人口 6,278人</p> <p>世帯数 1,867世帯</p>

平成になって20年。20年はふた昔!?

# 統計からみる町民の暮らし

平成19年4月～平成20年3月

<p>出生</p>  <p>1カ月に2人</p>	<p>死亡</p>  <p>1カ月に4人</p>	<p>転入</p>  <p>1カ月に16.6人</p>	<p>転出</p>  <p>1カ月に19.8人</p>
<p>婚姻</p>  <p>1年に15組</p>	<p>離婚</p>  <p>1年に6組</p>	<p>人口密度</p>  <p>1km<sup>2</sup>に12.3人</p>	<p>平均世帯人数</p>  <p>1世帯に2.5人</p>
<p>町当初予算</p>  <p>20年度・一般会計 51億5,200万円</p>	<p>町税</p>  <p>18年度決算 1人年間41万9千円</p>	<p>町議会議員定数</p>  <p>12人、町民413人に1人</p>	<p>教員</p>  <p>19年学校基本調査 71人、児童・生徒7人1人</p>
<p>ごみ</p>  <p>1世帯1日あたり2.0kg</p>	<p>水道</p>  <p>1日1世帯あたり359%</p>	<p>警察官</p>  <p>2人、町民2,480人に1人</p>	<p>保健師</p>  <p>5人、町民992人に1人</p>
<p>たばこ</p>  <p>1人1日あたりに6.5本</p>	<p>自動車</p>  <p>19年度末現在 5,280台、1世帯あたり2.6台</p>	<p>消防団員</p>  <p>団員数は20年4月1日現在 83人、町民60人に1人</p>	<p>平成20年3月末</p> <p>人口 4,959人</p> <p>世帯数 2,004世帯</p>

※出生、死亡、婚姻。離婚は、役場戸籍窓口受理分

20年